

先進的な高等学校づくり（パイロット・ハイスクール）推進事業の概要

学 校 名	千葉県立浦安高等学校	事 業 名	学ぶ意欲を喚起する生徒支援システム開発
1 事業の目的			
<p>本事業は、社会の一員として充実した人生を創造することの出来る生徒を育成することを目標に、入学から卒業までの3年間にわたり、計画的・体系的に学習面・精神面をサポートする「生徒支援システム」の開発を目指している。</p>			
2 事業の概要			
<p>(研究開発の概要)</p> <p>自ら学ぶ意欲は、豊かな人間関係が構築され、社会性や心が育まれる中で実現されるという考えに立ち、生徒たちの学習面・精神面双方から「各種の学ぶ意欲を育むためのプログラム」を体系化し、全校をあげて開発・実践したものである。本事業では、学ぶ意欲を喚起するための生徒支援システムとして、次の2つのプログラムを開発した。</p> <p>(1) 豊かな人間関係の構築や思いやりの精神の育成プログラム（キャリア・サポートプログラム） ソーシャルスキルトレーニング、卒業生・外部組織・地域の教育力を活用したキャリア形成に係る学習</p> <p>(2) 学ぶ意義や楽しさが分かる実践的学習プログラム（チャレンジ・レッスン） 教養分野・資格取得・進路対策等のテーマ別講座の実施、教科学習の基礎的・発展的学習、資格取得</p> <p>(研究のねらい)</p> <p>社会性の育成を基盤とする様々な支援のもとに、自律の心やコミュニケーション能力、豊かな人間関係を育み、自らの進路希望を実現するための根源である「生徒自らが学ぶ意欲を喚起できるシステム」をつくることをねらいとする。</p> <p>(研究内容)</p> <p>上記プログラムを開発し、円滑に実施するため、次のことに取り組んだ。</p> <p>(1) 心の育成を支援する効率的な取組方法の研究と、高い効果を生み出す教材の開発と配列のあり方を研究した。</p> <p>(2) 「社会の一員として、充実した人生を創造することのできる生徒」の育成を目標に、指導内容の共通化や融合を図り、校内組織を横断的に如何に組み合わせるかの研究を実施した。</p> <p>(3) 高等学校における道徳性・社会性の陶冶に関する教材を開発した。(成長へのモチベーション・授業の規律・豊かな自己形成・自己理解・豊かな人間関係づくり・マナー・モラルの向上・豊かな人間性・社会性の向上など)</p> <p>(4) 大学や外部機関と連携し、社会性の陶冶に関するSSTの教材開発と実践。さらにアセスメントを実施し、有効性の検証を行った。</p> <p>(5) 広報活動はポートフォリオをもって行い、取り組みの様子をHP等で発信した。</p> <p>(6) 生徒支援システム」を全校的な規模で運用・評価した。アセスメントを実施し改善策を、次年度にフィードバックし、より汎用性のある完成度の高いシステムへの移行を図った。</p>			
3 事業の経過			
<p>平成17年度は、学ぶ意欲をしっかりと持ち高等学校教育にふさわしい学力の定着を図るための活動の方向性や実施上の問題点等の検討を行った。基礎学力の育成を図るための基礎講座や生徒の興味関心の高い講座を設置し「チャレンジ・レッスン」と名づけ、総合的な学習の時間で実施することとなった。各教科等では、講座開設に向けて様々な教材の開発に取り組んだ。</p> <p>平成18年度は、選択講座を中心とした「チャレンジ・レッスン」を総合的な学習の時間に実施した。実施後の評価結果から、本校生徒に身に付けて欲しい「自尊感情」と「人間関係能力の豊かさ」を育むため、新たに社会性育成プログラムを、従来の「チャレンジ・レッスン」に加えることにより、平成19年度より「キャリア・サポート・プログラム」として実施することとなった。学校生活の様々な場で社会性を身に付けさせ、価値観の獲得とそれらを基盤として、学ぶ意欲を育てるという「社会性育成のためのプログラム」開発に取り組んだ。効果的な実践となるようプログラムの順序立てと優先順位に配慮し、教材開発がされていった。</p> <p>平成19年度は、総合的な学習の時間を31時間使い、心と学びの両面を踏まえた学習意欲喚起のためのプログラムを実施した。実施にあたっては、前期に社会性育成のための「キャリア・サポートプログラム」、後期は、選択講座中心の「チャレンジ・レッスン」の2つに分け実施した。</p> <p>「キャリア・サポート・プログラム」では、心や体の健全な成長を図るための各種講座(性の講演会など)、豊かな人間関係づくりに係る講座(全校SSTなど)、地域の教育力を導入した講座(浦高OB授業)などの社会性育成プログラムを実施した。講座展開に係るワークシート作成などは委員会で準備し、全校をあげて取り組んだ。</p> <p>「チャレンジ・レッスン」では、就職に役立つ資格取得講座、人間関係能力の向上のための講座、基礎学力・発展的学力を身につける講座など30を超える講座を設け全職員で実施した。</p>			
4 事業の成果と今後の学校経営への取り組みや他の学校で応用可能なものの紹介			
<p>「学ぶ意欲を喚起するシステム」づくりは、自己啓発指導重点校としての取り組みと強くリンクさせながら、学校をあげて取り組んだものである。3年間の取り組みを通じて得られた効果は多くあるが、主なものを以下にあげる。</p> <p>(1) 担当者の負担感が少なく、学校をあげて取り組める汎用性のあるプログラムの開発ができた。</p> <p>(2) 心の成長支援、集団生活や人間関係能力、学校生活への適応など、様々なプログラムを効果的に配列し、活動の連続性や関連性に配慮し、体系化を図ることが出来た。</p> <p>(3) 大学や外部有識者、地域教育力の活用により、アウトソーシングを積極的に導入したプログラムが開発できた。</p> <p>(4) OBによる授業、全校展開SSTなど、地域や大学と連携し、生徒に夢や感動を与えるプログラムが開発できた。</p> <p>(5) 「キャリア・サポート・プログラム」「チャレンジ・レッスン」に対する生徒の評価は高く、事業を実施した効果は大きかった。</p> <p>(6) 事業を通じ、地域や学校外との連携の機運が高まり、学校の教育力の向上や開かれた学校づくりに役立った。</p> <p>3年間の取り組みを経て、浦安高校としての「学ぶ意欲を喚起する生徒支援システム」の方向性が定まりつつある。今回の事業への取り組みを通して、自ら学ぶ意欲は、豊かな人間関係が構築され、社会性や心が育まれる中で生まれるということを改めて感じた次第である。今年度でパイロット・ハイスクール推進事業は終了するが、今後とも引き続き、プログラムの開発・実践に取り組む、生きる力や学力向上の根元となる「自ら学ぶ姿勢の育成」にあたりたいと考える。</p> <p>学校をあげて取り組んだ今回の事業は、本校にとって学校再生の大きな力となった。事業の取り組みにあたりご協力頂いた関係者の方々に心より感謝する次第である。</p>			